

6月23日～29日は「男女共同参画週間」

今年のキャッチフレーズは“誰でも、どこでも、自分らしく”

☎総務課 ☎0176-51-6702

インタビュー
-INTERVIEW-

十和田市へUターンして書店「TSUNDOKU BOOKS」をオープンした長嶺 李砂さんに、「自分らしさ」についてお話を聞きました。

お店は月の後半が定休日となっていますが、その期間は何をされていますか？

翌月の開店準備をしています。本棚に並べる本を毎月変えているので、新しい本を探して入荷したり、どの棚にどんなコーナーを作るか考えたりしています。あとは、編集者としての仕事も並行しているので、取材をしに出かけられるように月の後半にまとめて時間を取っています。編集業と本屋を両立したくて、自分が続けられる方法を考えた結果、この形になりました。

自分に合う働き方はどのように見つけたんでしょうか？

2、30代はとにかくいろいろな働き方に挑戦しました。「じっくりこない」「他の方法を試そう」を繰り返して、ようやく「これかも？」と覚悟しているところです。自分らしさの大前提は「自分が納得しているか」だと思うんです。全ての人に当てはまる正解は無いですし、自分に合う働き方は自分にしか見つけられないので、これからも試行錯誤と微調整を続けていきたいです。

「自分らしく働けるまち」に必要なものは何だと思いますか？

周りが応援する空気が大事だと思います。人それぞれに合う生き方があるから、女性だから男性だからこうし

ないといけないという役割期待や固定観念で縛らずに、応援してくれるとうれしいですね。一人一人がそういう意識を持つまちには、自然と人が集まってくるんじゃないでしょうか。私みたいな考え方は、このまちではまだまだ少数派に感じますが、続く人が出てくると楽しいなと思います。

今後の目標を教えてください。

まずは店を10年続けたいです。ありがたいことに毎月来てくれる常連さんや、この店ができてから本を読むようになったと言ってくれるお客様も増えてきました。本が好きな人、TSUNDOKU BOOKSが好きな人、店にきてみたい人、見るだけでも構いません。老若男女、国籍問わず、ぜひ気軽にご来店くださいな。



長嶺 李砂さん

高校生まで十和田市で育ち、卒業後に東京へ進学。出版社で編集などの仕事に携わった後、独立。令和6年5月に十和田市へUターンし、TSUNDOKU BOOKSをオープン。

TSUNDOKU BOOKS (稲生町14-52)
営業日 1～15日 ※月の後半は定休日
営業時間 午後3時～9時



現代美術館イベント情報

☎現代美術館 ☎0176-20-1127

メール inquiries@towadaartcenter.com



きょうめいげん

共鳴弦トリオライブキャラバン 十和田公演

とき 6月27日(金) 午後4時(開場 午後3時30分)

ところ 美術館 カフェ ※直接会場にお越しください。

料金 無料 ※事前予約不要



©2024 Kaihei Akioka

共鳴弦トリオ SonaSonaS による弦楽器のライブを開催します。

SonaSonaS は、主にバロック時代に活躍した古楽器ヴィオラ・ダモーレと、ノルウェーの伝統楽器であるハーディングフェーレという、世界的に極めて稀な組み合わせの女性トリオです。

オリジナル作品に加え、北欧などの民族音楽やルネサンスから現代に至る幅広いレパートリーを、共鳴弦の特質を生かしたクリエイティブなアレンジでお届けします。

6月10日(火)は現代美術館常設展市民無料デー

マイナンバーカード、運転免許証など住所が確認できるものを受付に提示してください。

学芸員による常設展ギャラリートーク

とき 6月28日(土) 午後2時～2時40分

集合場所 美術館 受付

※要常設展チケット